

レインボーローズを作ろう・その① 切り花着色剤「ファンタジー」を使って

6年生の「植物のからだのはたらき」や中学1年の「植物の葉や茎のつくり」の単元で、根や茎、葉の吸水・蒸散作用を観察する際、食紅やインクで着色した水を使って、植物体がしおれてしまったり、うまく吸水できなかったことがありますか？最近、パレス科学から生花を着色する着色剤「ファンタジー」が市販されており、それを使って吸水させてみました。



まずアスパラガスの茎で試してみました。着色前の茎断面が右上画像です。容器の底1cmぐらいの高さに、ファンタジー着色剤（コバルトブルー）を入れます。15～20分ぐらいで茎の上部まで染められ、右下画像のように道管が青く染まりました。短時間で着色することが可能で、切り花用のためにしおれたりすることがあまりなく、手軽に使うことができます。

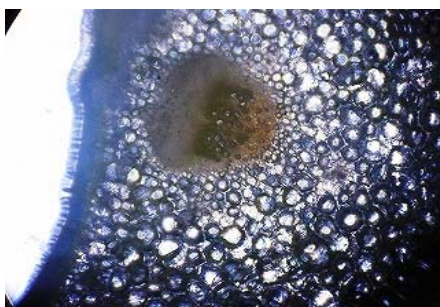


アスパラガス着色前

色の薄い花を使えば花弁まで染まり、双子葉植物の網状脈が花弁全体に張りめぐらされている様子、閉鎖系であることが確認できます。



アスパラガス着色後



セロリの道管の着色

左下のセロリの道管も、15分ほどで染まりました。

今回使用したものは、『生花染色液「ファンタジー」5色セット(100mL×5)』で、2,625円ものです。楽天などで検索して購入もできますが、送料がかかるので、理科教材を扱う業者さんに問い合わせてください。教材カタログにも載っていますよ。次はバラの染色に挑戦します。
(文責：玉村かおり)